

# 請 願 書

東急株式会社 御中

2023年3月6日

女性専用車両に反対する



代表 福山 博

副代表 川上 直也

拝啓、貴社におかれましては、益々ご盛栄のことと、お慶び申し上げます。

さて、当「女性専用車両に反対する会」（以降、「当会」）では、主に以下の観点から貴社を含む鉄道事業者（公営を含む）において導入されている「女性専用車両」に反対する活動を行っております。

- 本来、公共交通機関の原則として同一料金を支払っている鉄道利用者へは同一のサービスを公平に提供すべきであるが、その原則を担うインフラ事業者としての認識が希薄である。
- 「女性への性犯罪や迷惑行為等の防止のため」として導入されている当該車両は、男性一般を一方的に「潜在的犯罪者」と見なしており、これは何人も犯罪を犯す前は無辜の者として扱わなければならない推定無罪の原則から逸脱している

上に、属性（男性）差別にあたり、男性全体に対しての人権侵害である。

一方（女性）の人権を守るために他方（男性）の人権を侵害することが許容される社会ではあってはならない。

- 近年益々重視されるダイバーシティ（多様社会）の実現、ジェンダーバイアス（性別に基づく偏見）の解消、また LGBTQ+の人々の抱える心理的課題などの視点からも、女性専用車両に傾重した犯罪対策からは脱却することが重要である。

#### 【請願事項】

1. 貴社において、女性専用車両の未導入路線である目黒線に当該車両を導入しないでください。
2. この度、当該車両を導入すると発表した新横浜線について、当該車両の導入を中止してください。
3. 既に女性専用車両が導入されている路線については、将来的に女性専用車両の縮小・廃止してください。
4. 既に女性専用車両が導入されている路線については、当該車両は何ら法的な根拠に基づかない車両であることから、障がい者をはじめ、その他あらゆる事情を持った、またはこの車両に協力の意思を持たない男性が乗車しても不測の事態を招かないよう、適切な表示・案内等をもって、女性専用車両は任意協力である旨の周知を徹底してください。

5. 早急に貴社路線の全車両へ、迷惑行為が6割も減少した実績がある車内防犯カメラの設置をし、車内において迷惑行為を受けた利用客が被害を申告しやすいよう、一歩踏み込んだ通報・相談体制を整えてください。
  
6. 毎日、ラッシュ時間帯には警察官や警備員等による「見せる警備」、併せて私服警察官や警備員による覆面警乗を行い、すべての利用客が安心して利用できる鉄道にしてください。

以上のことを強くお願いいたします。

以 上

【返信先】

〒104-0061

東京都中央区銀座2-14-8

ML20030622

女性専用車両に反対する会